

[プレスリリース]

公益財団法人 日本セーリング連盟

男女混合ディンギー種目、暫定 1 位をキープ
男女混合マルチハル種目は初日のレースから厳しい戦いに



競技種目中最大サイズの Nacra17 級 ©JSAF/JUNICHI HIRAI (写真転用禁止)

レース 7 日目。今日は地中海特有の北寄りの強風、ミストラルが吹く 1 日となりました。レース海面にもよりますが、コンスタントに 15~20 ノット、ガストで 25~30 ノットの風が吹くコンディションで、男女のディンギー種目 ILCA7/6 級、男女混合ディンギー種目 470 級、そして今日から男女混合マルチハル種目 Nacra17 級のオープニンシリーズも始まりました。また昨日延期になった男女ウインドサーフィン種目のメダルシリーズも行われました。

今日からレースが始まった男女混合マルチハル種目。スキッパーの飯東潮吹選手にとっては東京大会に続き 2 度目、クルーの西田カピーリア桜良選手は初めてのオリンピック出場です。

強風予報で難しいレースになることを覚悟していた 2 人ですが、ギアトラブルなどもあり成績はふるいませんでした。しかしレースはまだ始まったばかり。明日以降は再び風が落ちる予報なので、気持ちを切り替えて順位アップを目指します。

男女混合マルチハル種目は 1 日 3 レース、計 12 レースのオープニンシリーズを経て、8 月 7 日に上位 10 艇によるメダルレースが行われる予定です。



4 レースを終え暫定首位の岡田／吉岡組 ©JSAF/JUNICHI HIRAI（写真転用禁止）

男女混合ディンギー種目 470 級は今日も予定どおり 2 レース行われ、岡田奎樹／吉岡美帆組は暫定首位をキープしています。

どちらかという強風のスピードを課題にしている岡田／吉岡組。強風予報の今日が一つの山場になると意識してレースにのぞみました。1 レース目はピンエンド（風上に向かってスタートラインの一番左側）のスタートを決めてレース中盤までトップでしたが、最後のダウンウインドで強風を得意とするスウェーデンに抜かれ 2 位でフィニッシュ。

続く 2 レース目は風向がコンスタントに変わるコンディションの中、スウェーデンを意識しすぎてダウンウインド（風下に向かっての帆走）で後続艇団に追いつかれ、6 位でのフィニッシュとなりました。それでも岡田／吉岡組は危なげなく暫定首位を守っています。明日は風が少し落ちる予報で、岡田／吉岡組が得意な風域となりそうです。

今日行われた男女ウインドサーフィン種目のメダルシリーズでは、新フォーマットならではのドラマがありました。

メダルシリーズはオープニングシリーズの得点がリセットされ、10～4 位による準々決勝、準々決勝上位 2 人と 2～3 位による準決勝、準決勝上位 2 人とオープニ

ングシリーズ 1 位による決勝が行われ、決勝の着順によってメダルが決まります。

大番狂わせは女子 iQF0iL 級で起きました。オープンニングシリーズで 2 位に倍以上の点差を付けて独走し、金メダル確実と思われていたイギリスの Emma Wilson 選手が、決勝でまさかの最下位となり銅メダルに。レースが終わった瞬間、ボードの上でうずくまり頭を抱えた姿は悲痛なものがありました。優勝はオープンニングシリーズ 3 位のイタリア、Marte Maggetti 選手でした。

以前のフォーマット（オープンニングシリーズの得点がリセットされずに決勝 1 レースだけ行う）であれば、こうした大逆転劇は起こりませんでした。賛否両論はありそうですが、最後まで何が起こるか分からないというスリリングさは、セーリング競技の新しい一面です。

成績 & スケジュール（ワールドセーリング五輪公式大会サイト）

<https://paris2024.sailing.org/racing/results-centre/>

（審問により成績が変更される場合があります。またレーススケジュールはコンディションによって変更されますので、必ず最新情報をご確認ください）

[選手コメント]

Nacra17 級クルー・西田カピーリア桜良選手

「初めてのオリンピックですごく気合いが入っていました。1 レース目は感覚もすごく良く、いい感じで上マークを回ったあと、ダウンウインドでジェネカーのハリヤードのカムが外れてしまっ。それが 5 回ぐらい続いて、それでちょっと体力を消耗してしまったのと、3 艇ぐらいに抜かれてしまったのが残念です」

Nacra17 級スキッパー・飯東潮吹選手

「初日は強風予報だったので難しいレースになると思っていました。出だしは良かったですが、ちょっとした艇のトラブルがあって、それから波に乗れずに今日 1 日が終わっちゃったという感じです。トラブルで集中力が落ちてしまい、しっかりレースに挑めなかったのが良くなかったね、というのはレース後にチームで話し合いました。明日以降は風域が変わる予報ですし、まだ始まったばかりなので、チームとしてクヨクヨはしていません。明日以降、切り替えてしっかりやっていこうと思います」

470 級スキッパー・岡田奎樹選手

「1 レース目の 2 番はまあしょうがないと思います。スウェーデンのアントンは強風が速いですし、最後のダウンウインドではブローの入りを逃してしまって、そこはちょっと運がなかったかなと思います。

2 レース目は、途中からおさえておくべき順位を意識して、ヘダー（風が不利な方向に振れること）でも構わず寄せていったんですが、ヘダー、ヘダーが続いちゃって、後続艇にも追いつかれてしまいました。昨日もやってしまったんですが、相手をガチガチにおさえずにノビノビと、ある程度ソフトにカバーして、（自分の順位を）3 番以内に決定させてから、またダウンウインドで勝負すればいいのに、ちょっと固くおさえてしまい、後ろからドンと追いつかれちゃって、それで結局ダウンウインドも苦しくなっちゃいました。最後のレグで団子になった時、自分たちは规则的に避けなきゃいけないポジションだったので順位を落としてしまいました。

振り返れば、なんでそんなことやったんだろうと思うんですけど、その瞬間は固くいったほうがいいなとか思っちゃう。ソフトにいったほうがいいのに、ついやっちゃうんですね。テンションがあがっちゃって、『いったっれー！』みたいな。（スウェーデンの）アントンが 2 レース目もいい順位だと、カットしたら（一番悪いレースの点数を削除できる）けっこう上がってくるので、そこ意識しすぎました。その挙げ句、自分だけ順位を落としちゃってね。まあしゃあないですね。

でも、全体的にみれば上出来じゃないですか、今日は風が強く、一番の山場でした。

明日からもう少し風が弱くなるので、そうしたら全然問題ないと思います。だから、明日からは期待してください！」

470 級クルー・吉岡美帆選手

「今日が山場だと思っていましたが、1 レース目、2 レース目ともにちょっとしたミスはありましたが、2 位と 6 位、シングルにまとめられたので上出来だったと思います。レース後にハーネスの計測を行いました、まったく問題ありませんでした。今日はそうですね、さっぱりしたものが食べたいです」

本件に関するお問い合わせ先

日本セーリング連盟 広報委員会 kohou@jsaf.or.jp

現地（西朝子）sailingnishi@gmail.com

+81-90-1042-9262（なるべく WhatsApp 等のアプリからおかけください）

写真に関するお問い合わせは上記までご連絡ください

JSAF 公式 [ウェブサイト](#) [Facebook](#) [X\(旧 Twitter\)](#) [Instagram](#)

[特設サイト](#) [代表 Instagram](#)